

伊丹市議会議員 おおつる 求の活動報告

みんなちがって、 みんないい



「誰もが自分らしく暮らせる伊丹」を目指して

日頃は大変お世話になっております。

昨年は私にとって大きな転機の年でした。4月の伊丹市議会議員選挙に初挑戦。皆さんのご支援のお蔭で、議会へ送って頂きました。初めての事ばかりで失敗を繰り返しつつ、自分なりに試行錯誤しながら精一杯走り続けた8カ月でした。

今年も「誰もが自分らしく暮らせる伊丹」を目指し、初心を忘れず頑張ります。

今後も皆さんのご支援・ご指導よろしく申し上げます。



2015年 議会質問一覧(要旨)

<6月議会一般質問>

- * 病児保育の現状と要望
病児保育の現状と一層の充実を強く要望。
- * アイ愛センター改修工事
床工事の不備を指摘。(後日手直しされる)
- * ヘイトスピーチへの見解と対応
ヘイト団体に公共施設を使わせないと答弁。

<9月議会個人質問>

- * 住宅リフォーム助成制度の創設を
建設業界のリアルを訴えると同時に、循環型経済対策として制度創設を主張。
- * 市内1000台の監視カメラ&ビーコン設置
『防犯』になるか否か、議論が噛み合わず。不祥事が起こった際の市の責任を問う。

<9月議会質疑>

- * 議案第93号
平成27年度伊丹市一般会計補正予算
- * 議案第104号
伊丹市安全安心のまちづくりのためのカメラの設置に関する条例
- ◆ 共に監視カメラ&ビーコン事案。恣意的・目的外使用防止のため条文解釈を確認。

<12月議会一般質問>

- * 男女共同参画施策を条例化すべき
封建的な伊丹だから条例化が必要と主張。
- * 市内1000台の監視カメラ&ビーコン設置
「公共事業」の在り方を改めて問う。
- * 性的マイノリティ施策について
当事者が生きにくい社会を確認した上で、教育・啓発の必要性を市長答弁で引き出す。

日々の活動はブログで報告しています。「おおつる 求」で検索して、是非ご一読ください。

議会報告

昨年 12 月議会では、①男女共同参画施策、②監視カメラ&ビーコンを設置する「伊丹市安全・安心見守りネットワーク事業」、③性的マイノリティ施策、の3つを質問しました。

「男女共同参画基本条例」の策定を。

『男は仕事、女は家事・育児という考え方に賛成か?』との問いに、賛成する・どちらかと言えば賛成するが男性 60%、女性 50.8%。(市民意識調査)。全国と比較しても非常に高く、伊丹市民は「固定的な性別役割分担」意識が大変根強い。

「男女共同参画施策」は、全庁的な課題。目指す社会を描いた仮称「男女共同参画基本条例」を策定すべき、との質問に、市は課題が多数残っていることを認め、「条例が必要との声が高まったら、必要性について検討していく」と答弁した。

『男は仕事、女は家事・育児』
の考え方に賛成する割合

◎市民意識調査(2015年)
男性 60.0% 女性 50.8%

◎内閣府調査(2014年)
男性 46.5% 女性 43.2%



「慎重の上にも慎重に進めること」を強く要望。

監視カメラ 1000 台及びビーコン設置という、新しい形の「公共事業」について 9 月議会に引き続き質問。

伊丹警察署との間で交わした「画像データの運用及び管理に関する覚書」の条文解釈や、ビーコン発信器の申込・解約方法について尋ね、目的外使用が出来ない仕組み作りになっているか、を確認した。

その上で、決して「スケジュール優先」にすることなく、「慎重の上にも慎重に施策を進めること」を強く要望した。先行地域は今年3月から始まる予定。この問題は今後も粘り強く取り組んでいきます。

性的少数者への正しい認識と対応に取り組む、と市長が前向き答弁。

広告代理店調査によると、性的マイノリティの方は全体の 7.6%。しかしカミングアウトしない限り、当事者が姿は見えにくく、様々な制度や啓発は十分ではない現実がある。

当事者が『生きにくい社会』を作っているのは、私も含めた市民や社会という現実を共通認識にしましょう、と呼びかけた後、藤原市長に答弁を求めた。

「正しい認識と対応を市職員・教職員はもとより、市民の皆さんのものとして頂くため、更なる研修や人権教育・啓発が最も急がれる」認識を示した市長は、「教育委員会とも連携し、誰もがありのままで生活できるよう、今後も取り組んでいく」と答弁。

早急に出来ることから具体的に取り組んでいくことを要望した。



大阪市淀川区では性的少数者専用の電話相談窓口を設置している。

12月議会 エトセトラ

今回は23名の議員が、様々な角度から質問に立ちました。質問総数61案件。その中から身近な話題を、独断でピックアップ。ご報告します。



公立幼稚園の統廃合問題、先送りに。スケジュールは未定。

1999年をピークに4歳児応募人数の減少が続いている公立幼稚園。

2014年6月、伊丹市学校教育審議会は、現行のブロック園区(6ブロック)のバランスを配慮した上で「公立幼稚園16園を10園程度に統廃合し、適正規模(複数学級園)にしていくことが望ましい」と答申した。

しかし、様々な説明会で市民への周知が不十分との指摘が続出。市民意識調査でも「統廃合を進める」と「現状のまま」の回答が拮抗していたため、2015年度中に策定予定だった基本方針及び実施計画は先送りに。現時点でスケジュールは未定、となった。

深刻な子どもの貧困。就学援助制度の活用を。

およそ6人に1人といわれる「子どもの貧困」は、伊丹でも深刻な問題だ。市は経済的理由で就学困難な小中学生約2,700名(2014年度)に対し、学用品費や給食費等の就学援助をしている。また今年度から一層安心して就学できる環境を整えるため、次のような工夫も。

- ①通学服や通学靴等の費用負担を早期解消するため、
新入学生の学用品費支給月を、例年の9月から5月に4か月前倒し。
- ②広く保護者へ周知するため、学校入学説明会で就学援助制度を説明。

阪急・JR伊丹駅周辺を「喫煙禁止区域」に指定。

伊丹の玄関口である阪急伊丹駅、及びJR伊丹駅周辺を「路上等喫煙禁止区域」に指定。

2016年2月から。啓発期間の後、7月から違反者は過料1,000円を課す措置も。

同時に、両駅を含む中心市街地一帯を「歩きたばこ・ぼい捨て防止重点区域」に定め、環境の美化、及び受動喫煙を防止し、快適な駅前空間を創造する。

ヘイトスピーチ対策を国へ要望する意見書、全会一致で採択。

国に対し「一人一人の人権が尊重される社会の実現を図るため、人種や国籍等に係る差別をあおる表現行為の根絶に向けた適切な措置を講じられるよう、強く要望する。」とした「人種や国籍等に係る差別をあおる表現行為の根絶に向けた対策を求める意見書」が、議会最終日(12月24日)に、全会一致で採択された。

議員初質問で取り上げた「ヘイトスピーチ」問題。

半年後、このような形になるとは考えていなかっただけに、嬉しい出来事だった。

福島みずほの国政報告会

国会で安倍首相と真っ向勝負し、市民の想いを国政に届け続ける福島みずほ参議院議員の国政報告会を下記2か所で開催します。是非ご参加ください。30分前受付開始、参加費は無料です。



日時:2月13日(土)
午後2時30分～

場所:神戸市勤労会館

「三宮」駅下車、東へ徒歩5分

日時:2月14日(日)
午後2時～

場所:西宮市勤労会館

JR「西宮」下車、南へ徒歩7分



戦争法は廃止！憲法改悪を許さない1000人集会

日時：5月4日（水・祝）午後2時～

場所：いたみホール 大ホール

講師：落合恵子さん(作家／クレヨンハウス代表)

保坂展人さん(東京都世田谷区長)

議会の不思議



議員の質問に市長答弁を求めると、事務方に緊張感がはしるのはなぜ?? 困った顔をする人、避けようと粘る人。議場では部長答弁ばかりで退屈顔も。市長は話したいのだろう、多分だけ。

市政に対するご意見や疑問、お聞かせください。困ったこと、悩んでいること、一緒に考えましょう。

伊丹市議会議員 **おおつる 求**

[電話] 090-8122-7114 [Web] <http://ootsuru.com>

【プロフィール】1971年福岡県大牟田市生まれ。稲野町在住。
 ■近畿大学法学部法律学科卒 ■国際交流NPOスタッフとして「地球一周の船旅」に参加 ■中川智子衆議院議員(現宝塚市長)秘書 ■建築従事者の組合・阪神土建労働組合書記局に入局
 ■2015年4月の伊丹市議会議員選挙に社民党公認で立候補、初当選 ■会派「フォーラム伊丹」所属。

日々雑感

- ◆ 「ウソつかない。TPP 断固反対」と嘘をつく。
- ◆ 買うべきか否か。壊れかけのブラウン管テレビを見ながら考える日々。
- ◆ 母子世帯では66%。子どもの貧困、という現実。
- ◆ やはり雨。20回目の伊丹マダン。4年連続記録。
- ◆ スケールが大違い。十数年ぶりの訪中で実感。『最強の発展途上国』
- ◆ 女性裁判官は15名中3名。夫婦別姓は合憲と最高裁。18年前の福島瑞穂弁護士著「夫婦別姓セミナー」を読み返すボク。
- ◆ 「無知が偏見を生み、偏見が差別を生み出す。」船松(へのまつ)で改めて。
- ◆ 監視カメラを「見守りカメラ」と訂正して答弁する様は、「戦争法案」では無いと怒る安倍首相のよう、という事は凶星?